

キックオフイベント オンラインセッション開催報告

イベント名

WS09 文系大学院修了者のキャリアパスを考える

開催日時

6月23日 13:00 ~ 15:00

登壇者など

企画: JAAS研究環境改善WG 人文社会系ユニット

座長: 大竹裕香 (JAAS研究環境改善WG / 九州大学)

講演者: 吉田文 (早稲田大学)

討論者: 西田亮介 (東京工業大学)

討論者: 隠岐さや香 (東京大学)

討論者: 深澤知憲 (JAAS研究環境改善WG / 株式会社エマージングテクノロジーズ)

参加人数

最大66名

報告内容(自由に記述してください)

まず座長から、キャリアパスの狭さや大学院進学者の少なさといった、「文系」=人文社会系の大学院を取り巻く状況について簡単にご紹介しました。その後、「文系大学院をめぐるトリレンマ」の編著者である吉田文さんより、そのような状況の原因として、大学院生・大学教員・労働市場の3者それぞれの思惑がどのようにすれ違ってしまっているのか、具体的なデータを紹介しながらご講演いただきました。続く討論セッションでは、隠岐さや香さん(科学史)、西田亮介さん(社会学)、深澤知憲さん(博士人材支援)より、それぞれの視点からコメントをいただくとともに、フロアの皆様からのご質問を、反響が大きかった順に取り上げて討論いたしました。例えば「産業と結びつきにくい分野の大学院教育について広く社会的な理解を得るにはどうしたら良いか」というご質問では、現状では労働市場において文系大学院修了者の採用が極めて少ないために、採用者が先入観(幻想)によって採用を避けてしまうという吉田さんのデータを踏まえながら、大学院や修了者の側からは何ができるのかが議論されました。また、フロアの方からは文系大学院に対する素朴な疑問も寄せられ、異分野間交流の大切さが浮き彫りになりました。全体として、「文系・理系」という区分の歴史や大学院をめぐる政策の影響など含め、幅広い文脈を踏まえた活発な議論がなされました。(578文字)